

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月27日

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー 森内久美子、志戸田由美子、富川真寿美、野原育美、山田唯、駒井久美子、中井宙、田中葵、山本真澄、古澤智子

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	個人 事人	個人 9 事人	個人 1 事人	個人 事人	個人 10 事人
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	個人 4 事人	個人 6 事人	個人 事人	個人 事人	個人 10 事人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	個人 4 事人	個人 6 事人	個人 事人	個人 事人	個人 10 事人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	個人 5 事人	個人 5 事人	個人 事人	個人 事人	個人 10 事人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	個人 3 事人	個人 6 事人	個人 1 事人	個人 事人	個人 10 事人

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	
・初期支援時には本人の情報やニーズを職員の間で共有し、利用開始したあとは現場の職員一人ひとりがその後の新たな情報を聞き、家族からも聞き出せた情報も増やして行ってフェイスシートに各自記入して共有し、関わりを持つようにしていく。	
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない
利用開始前には、新規利用者情報に目を通して把握した上で、積極的に話しかけてコミュニケーションをとるように心掛けた。送迎時には家族から、日常生活の情報を聞き取りを心掛けた。	
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	
利用相談があった時には、管理者、ケアマネージャーが情報を収集し、利用開始前にスタッフに情報がわかるように、新規利用者情報が提示してあり、本人や家族から新しく聞いた情報も共有されている。	
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	
新たな情報をスタッフ一人ひとりが聞き出せていても、フェイスシートに記入することが難しく、スタッフ全員に伝わっていないこともある。	

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
本人の思いよりも家族の思いが優先になっている時が多く、必要とする支援が出来ていない。家族と接する機会が少なく、関係性が築けていない。	

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

初期支援時には本人の情報やニーズを職員の間で共有し、新たな情報は毎月のケースカンファレンスで共有し、関わりを持つようにしていく。
--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 12 月 27 日

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 森内久美子、志戸田由美子、富川真寿美、野原育美、山田唯、駒井久美子、中井宙、田中葵、山本真澄、古澤智子

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	個 2 人 事 人	個 6 人 事 人	個 2 人 事 人	個 人 事 人	個 10 人 事 人
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	個 人 事 人	個 6 人 事 人	個 4 人 事 人	個 人 事 人	個 10 人 事 人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	個 人 事 人	個 7 人 事 人	個 3 人 事 人	個 人 事 人	個 10 人 事 人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	個 人 事 人	個 8 人 事 人	個 2 人 事 人	個 人 事 人	個 10 人 事 人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	個 人 事 人	個 8 人 事 人	個 1 人 事 人	個 1 人 事 人	個 10 人 事 人

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	
	・担当制で利用者の理解を引き続き深めていき、全利用者のケアプランを入れたファイル置いて皆がすぐ見れるようにして本人の目標を皆で周知して共有し、日々の関わりの中で目標達成できるように関わり支援を行っていく。
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない
	担当制にすることで、担当する利用者のことをより深く知り、問題点の発見やそれに向けての解決策を考えることができている。
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	
	全利用者のファイルを見やすいように設置し、担当制で毎月ケースカンファレンスを実施しており利用者のことをより深く知り、問題点の発見やそれに向けての解決策等を考え共有できている。
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	
	毎月の関わりの中での目標達成が、業務に追われて出来ないことが多くなっている。人員が少ないため現場にいることが多く、ファイルを見る余裕がない事がある。

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
	本人の目標などの把握や、一人ひとりに時間をかけて向き合う余裕がなくて出来ていない。ミーティングで発言しているが、次に生かせていないこともある。

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

担当制を継続して利用者の理解を深めていき、全利用者のファイルを見やすく整理したので、本人の目標を把握できるよう職員同士で声掛けをして共有し、目標達成に向けた関わりや対応に活かしていく。
--

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	個 4 人 事 人	個 4 人 事 人	個 2 人 事 人	個 人 事 人	個 10 人 事 人
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	個 人 事 人	個 1 人 事 人	個 8 人 事 人	個 1 人 事 人	個 10 人 事 人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	個 2 人 事 人	個 8 人 事 人	個 人 事 人	個 人 事 人	個 10 人 事 人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	個 2 人 事 人	個 4 人 事 人	個 4 人 事 人	個 人 事 人	個 10 人 事 人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	個 3 人 事 人	個 7 人 事 人	個 人 事 人	個 人 事 人	個 10 人 事 人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	個 1 人 事 人	個 9 人 事 人	個 人 事 人	個 人 事 人	個 10 人 事 人

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>変化に気づいた時は報告して共有し、支援の方向性を変える必要がある時は勝手に進めず統一した支援を皆で周知する。変更になった場合は日報のケア方法変更の欄に記載して周知し支援がバラバラにならないようにしていく。</li> <li>本人の生活歴について職員皆で聞き出していき、フェイスシートに情報を増やして共有していく。</li> </ul>	
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている D:まったくできていない	B:おおむねできている C:あまりできていない
変化に気づいた時は報告して共有することがその都度できていた。		
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	支援内容等に変更があった場合は業務日報や連絡ノートに記載、またミーティングを通して周知し情報が共有されている。	
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	本人の生活歴に関しては情報不足であり、聞き取りができていても日々の介護業務に追われフェイスシートに書き漏れることがある。	

III. 現状の取組みについて

I-①～⑤、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>時間に余裕が持たず利用者とはゆっくり話をする機会がないため全利用者の以前の暮らし方を10個以上把握できている職員はいない。</li> <li>体調の変化にはすぐに対応できているが気持ちの変化には十分な対応ができているとは限らない。</li> </ul>	

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

<ul style="list-style-type: none"> <li>より多くの情報を収集し細やかな情報でも共有して、利用者にとって最適な介護を提供する。</li> <li>利用者の状況や置かれている環境を把握した上で困っていることや不安に思うことなど理解するように一人ひとりが努める。</li> </ul>
--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 12 月 27 日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 森内久美子、志戸田由美子、富川真寿美、野原育美、山田唯、駒井久美子、中井宙、田中葵、山本眞澄、古澤智子

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	個 1 人 事 人	個 4 人 事 人	個 5 人 事 人	個 1 人 事 人	個 10 人 事 人
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	個 1 人 事 人	個 4 人 事 人	個 5 人 事 人	個 人 事 人	個 10 人 事 人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	個 1 人 事 人	個 4 人 事 人	個 5 人 事 人	個 人 事 人	個 10 人 事 人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	個 人 事 人	個 4 人 事 人	個 6 人 事 人	個 人 事 人	個 10 人 事 人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	個 1 人 事 人	個 1 人 事 人	個 8 人 事 人	個 人 事 人	個 10 人 事 人

II. 前回の改善計画に対する取り組み状況

① 前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で外の情報が入りづらいので、日頃から業務以外でも地域の事に目を向けて情報を知る必要がある。家族にも本人がどのように過ごしているのかを聞きとっていく。</li> <li>・地域の民生委員について、広報にも載るので把握する。</li> </ul>		
② 前回の改善計画に対する取り組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない	ほとんどの職員が業務以外で地域に関わる事が少なかった。	
③ 前回の改善計画に対する取り組み結果について、できている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時を活用して家族との会話の中で本人の様子を聞き出すことをしている。</li> <li>・少しずつだが地域の行事に参加し情報を知ることができている。</li> </ul>		
④ 前回の改善計画に対する取り組み結果について、できていない点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての利用者の地区民生委員を把握していない。</li> <li>・家族からの聞き取りは特定の職員しか情報が降りてこない。</li> </ul>		

III. 現状の取り組みについて

I-①~④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の介護業務が中心になっているため、民生委員や地域の資源に関してよく把握できていない。</li> </ul>	

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者を取り巻く家族や地域の方などに積極的にあいさつをしたり行事に参加することで、信頼関係を築き関係を切らさないようにしていく。</li> </ul>
---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 12 月 27 日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 森内久美子、志戸田由美子、富川真寿美、野原育美、山田唯、駒井久美子、中井宙、田中葵、山本眞澄、古澤智子

### I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	個 1 人 事 人	個 3 人 事 人	個 3 人 事 人	個 3 人 事 人	個 10 人 事 人
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	個 人 事 人	個 4 人 事 人	個 6 人 事 人	個 人 事 人	個 10 人 事 人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	個 4 人 事 人	個 5 人 事 人	個 1 人 事 人	個 人 事 人	個 10 人 事 人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	個 3 人 事 人	個 7 人 事 人	個 人 事 人	個 人 事 人	個 10 人 事 人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	個 4 人 事 人	個 6 人 事 人	個 人 事 人	個 人 事 人	個 10 人 事 人

### II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	
	・コロナの状況も見ながら、職員一人ひとりが自分の自治会の行事等にも参加して地域の資源に関わりを持っていく。
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない
	勇足の地域の行事に利用者が参加できた。自分の自治会行事には関わりが少ない職員もいる。
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	
	元町の夏祭りがあり、利用者と職員が参加できた。
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	
	自分の自治会については行事が少なく参加する機会があまりない。シフト勤務なのでなかなか参加は難しい。

### III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
	・ニーズに応じて適切な介護を提供できている。利用者や家族の状態に応じて通い・訪問・宿泊のサービスを提供している。 ・ミーティングで変化を共有できている。

### IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

家族との情報を共有し、利用者の変化を見逃さずに職員一人ひとりの気づきをミーティングやケースカンファレンスで共有していく。
--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月27日

6. 連携・協働

メンバー 森内久美子、志戸田由美子、富川真寿美、野原育美、山田唯、駒井久美子、中井宙、田中葵、山本真澄、古澤智子

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	個 2 人 事 人	個 6 人 事 人	個 2 人 事 人	個 人 事 人	個 10 人 事 人
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか?	個 2 人 事 人	個 3 人 事 人	個 2 人 事 人	個 3 人 事 人	個 10 人 事 人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	個 2 人 事 人	個 1 人 事 人	個 2 人 事 人	個 5 人 事 人	個 10 人 事 人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか?	個 5 人 事 人	個 人 事 人	個 2 人 事 人	個 3 人 事 人	個 10 人 事 人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	個 1 人 事 人	個 3 人 事 人	個 5 人 事 人	個 1 人 事 人	個 10 人 事 人

II. 前回の改善計画に対する取り組み状況

① 前回の改善計画	
	・コロナ禍で難しいができる範囲で、保育所の子供たちの散歩の時に顔を見せてもらうなど、地域住民との関わりを持てるように心がけていく。
② 前回の改善計画に対する取り組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない
	保育所とは連携できたがそれ以外の来訪者が少なかった。
③ 前回の改善計画に対する取り組み結果について、できている点	
	保育所の子供たちには夏祭りやお遊戯発表で参加してもらい交流できて利用者はとても喜んでいた。散歩の途中にも顔を見せてくれる事もあってにこやかに手を振っていた。
④ 前回の改善計画に対する取り組み結果について、できていない点	
	地域住民との関わりはこちらから積極的に出向く機会があっても良かった。

III. 現状の取り組みについて

I-①~④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
	サービス担当者会議など行っているが特定の担当者の出席になってしまう。

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

地域の相談窓口として、利用者と地域の関係がとぎれないように配慮していく。
--------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月27日

7. 運営

メンバー 森内久美子、志戸田由美子、富川真寿美、野原育美、山田唯、駒井久美子、中井宙、田中英、山本真澄、古澤智子

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	個 2 人 事 人	個 8 人 事 人	個 人 事 人	個 人 事 人	個 10 人 事 人
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	個 2 人 事 人	個 6 人 事 人	個 2 人 事 人	個 人 事 人	個 10 人 事 人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	個 3 人 事 人	個 6 人 事 人	個 人 事 人	個 1 人 事 人	個 10 人 事 人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	個 2 人 事 人	個 7 人 事 人	個 人 事 人	個 1 人 事 人	個 10 人 事 人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	個 人 事 人	個 4 人 事 人	個 5 人 事 人	個 1 人 事 人	個 10 人 事 人

II. 前回の改善計画に対する取り組み状況

① 前回の改善計画	
・普段から他の職員の意見について否定をせず、意見がある時は提案の形で伝え、全職員が事業所について意見や思いを言い合えるようにしていく。	
② 前回の改善計画に対する取り組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない
昨年より意見交換や発言ができるようになったとの意見多数だが、もう少し若い職員や、遠慮してしまう職員に対して、うまく汲み取り意見を出しやすい環境作りが必要である。	
③ 前回の改善計画に対する取り組み結果について、できている点	
日頃のミーティングや会議で階級に関係なく、意見交換、提案をしながら協議できるようになった。個人間でも相手をおもいあった言葉使い、新しい事項への前向きな捉え方を心がけており、発言が苦手、参加できないなどの場合は事前に聞き取りを行い孤立しないよう配慮している。	
④ 前回の改善計画に対する取り組み結果について、できていない点	
古き良き考えの個人差があり、変化を受け入れる事など個人の考え方のバランスをとることが難しい時がある。	

III. 現状の取り組みについて

I-①~④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
------------------------	----------------------

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

利用者主体の介護、運営にあたり、変化への柔軟性を持ち意見交換しやすい環境を作りチームワークの向上を目指す。また地域の相談窓口として、関係性の構築と情報共有を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月27日

8. 質を向上するための取組

メンバー 森内久美子、志戸田由美子、富川真寿美、野原育美、山田唯、駒井久美子、中井宙、田中英、山本真澄、古澤智子

### I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	個 3 人 事 人	個 6 人 事 人	個 1 人 事 人	個 人 事 人	個 10 人 事 人
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	個 6 人 事 人	個 3 人 事 人	個 1 人 事 人	個 人 事 人	個 10 人 事 人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	個 4 人 事 人	個 3 人 事 人	個 3 人 事 人	個 人 事 人	個 10 人 事 人
③	地域連絡会に参加していますか	個 人 事 人	個 1 人 事 人	個 3 人 事 人	個 6 人 事 人	個 10 人 事 人
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	個 1 人 事 人	個 6 人 事 人	個 3 人 事 人	個 人 事 人	個 10 人 事 人

### II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	
	・必要な研修、資格取得については勤務調整を行い、全職員に研修の機会を設けスキルアップにつなげていく。リスクマネジメント等の内部研修を行い、意識向上を図っていく。
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない
	スキルアップの内容を検討してキャリアパス研修を開催し、ほぼ全職員が参加することができた。
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	
	・個人で必要な研修については調整が出来ており内部研修やキャリアパス研修への参加も多く、不参加の方への資料配布等で情報の共有をしている。リスクマネジメントはヒヤリハットを通しリスクへの注意喚起ができています。
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	
	・シフトに余裕がなくキャリアアップのための個人の時間がさげなくなっている。研修内容が一人ひとりのスキルアップに確実にはつなげられていない。 ・研修の数が多く学びに結びつかないこともある。

### III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
	・職員減少でシフトの余裕がなく休みの日に研修に出る事が多く業務改善、人員確保も必要ではないか。

### IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

研修後の情報を徹底し、取り入れて復習する場を設け個々に学んだ事をアウトプットし、チームとしてスキルアップを目指す。連絡会については情報をまとめラインワークスを活用し周知徹底することで参加を促して行く。
--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月27日

9. 人権・プライバシー

メンバー 森内久美子、志戸田由美子、富川真寿美、野原育美、山田唯、駒井久美子、中井宙、田中英、山本真澄、古澤智子

### I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	個 2 人 事 人	個 8 人 事 人	個 人 事 人	個 人 事 人	個 10 人 事 人
①	身体拘束をしていない	個 8 人 事 人	個 2 人 事 人	個 人 事 人	個 人 事 人	個 10 人 事 人
②	虐待は行われていない	個 9 人 事 人	個 1 人 事 人	個 人 事 人	個 人 事 人	個 10 人 事 人
③	プライバシーが守られている	個 2 人 事 人	個 7 人 事 人	個 1 人 事 人	個 人 事 人	個 10 人 事 人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	個 3 人 事 人	個 3 人 事 人	個 3 人 事 人	個 1 人 事 人	個 10 人 事 人
⑤	適正な個人情報の管理ができています	個 5 人 事 人	個 5 人 事 人	個 人 事 人	個 人 事 人	個 10 人 事 人

### II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	
・利用者さんに対して基本的な言葉遣いに注意する。利用者さんがいる時は他の利用者の話をしないように気を付け、プライバシーも守るように心がけていく。	
②前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない
言葉遣いには気を付けて接するよう気を付けた。フロアが続いているので基本的には話がつつぬけてしまうので気を付けるように意識した。	
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	
・利用者さんに合わせ、言葉や声のトーンに注意して丁寧に接することができた。 ・安全を考慮して、できるだけプライバシーに配慮した介護を行うことができた。	
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	
・場面によっては大きな声で話している職員もいるがその場での指導が難しい。 ・ミーティングや利用者さんの報告をする時に同じフロアなのでどうしても他利用者に聞こえてしまう。	

### III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
・言葉遣いに気を付けているが思わずなれなれしくなってしまう時があった。 ・トイレの設計上プライバシーをしっかり守ることが難しい。 ・急に立ち上がったたり動こうとする方に「待っててね」など何気なく言って制止してしまうことがある。	

### IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

言葉の抑制(スピーチロック)を意識して利用者さんと接するようになる。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 本別町社会福祉協議会	代表者	会長 砂原 勝	法人・ 事業所 の特徴	本別町社会福祉協議会が運営する事業所。 本別町市街地からは離れた所に立地している。 地域住民の方々の理解と協力を得ながら運営しており、利用者の方々の住み慣れた地域で生活していただくという考えのもと、地域密着型の介護保険事業所としてその機能を担っている。
事業所名	勇足小規模多機能型 居宅介護事業所 「ゆうあいの里」	管理者	森内 久美子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	5人	人	1人	1人	人	6人	1人	15人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
事業所自己評価の確認	・事業所の改善計画を基に、実効性のある具体的な行動を起こせるよう、問題点や改善点を話し合う時間を作り、職員間の情報共有を図る。	・利用者に対しての初期支援、日常支援等については1ヶ月毎の全体会議で問題点や改善点について情報共有できた。		・引き続き問題点や改善点について職員間で情報共有を図る。
A. 事業所のしつらえ・環境	・整理整頓、美化、衛生面を常に心がけ、快適な居場所と居心地の良い事業所作りを意識する。 ・事業所の外観にも気を配り、花壇や野菜畑を作って地域の皆様、利用者が気持ち良く思えるよう環境を整える。	事務所内の書類の整理、ファイリング等を行いスペースの確保を行った。 ・花壇には花を植えて利用者も一緒に花壇作りを行なえたが、野菜畑は猛暑もあったが職員数が減っており草取りなどが定期的に行えず、利用者も筋力低下や認知面により畑作りは難しく不十分だった。	・野菜など植えたら手入れに行って手伝っても良いと思う。	・整理整頓、美化、衛生面を常に心がけ、季節ごとの作品展示を行い居心地の良い事業所作りを意識する。 ・事業所の外観は、花壇作りをして地域の皆様や利用者が気持ち良く思えるよう環境を整える。野菜畑は利用者とできる範囲で規模を縮小して続けていく。
B. 事業所と地域のかかわり	・ゆうあい便り等の広報誌を活用して事業所が相談窓口になっていることを周知していく。 ・オレンジカフェなど地域の方が気軽に来れるような内容の検討を行っていくとともに、気軽に来れるような周知の仕方を検討し、広報する。	・ゆうあい便りを定期的に発行してゆうあいの里の様子を発信し、お便りを通して相談体制の周知を行っている。 ・オレンジカフェは広報と一緒に配布して周知でき、体を動かしたり、手先を使って作品作りをしたりして内容にも工夫した。	・事業所が地域の方に知られているか全体から調査する方法を考えてはどうか。 ・自分が訪問した先ではゆうあいの里を知っている人はいるが、それ以外の住民がどこまで知っているかわからない。 ・親族及び市街地区以外は地域に知られていないと思う。	・社協だより、ゆうあい便りで事業所が困りごと相談の窓口になっていることを地域に周知していく。老人クラブの集まりや自治会の総会などに職員も出席して事業所を周知し気軽に話せる関係性を築いていく。 ・オレンジカフェのチラシは市街地だけでなく勇足全地区に周知していく。
C. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・引き続き今後のコロナ情勢の動向を見ながら、ゆうあい便り等で地域へゆうあいの里の状況を伝え、地域とのつながりが途切れないように取り組んでいく。 ・管理者やケアマネージャー等が地域を訪問する機会を増やし、サービスを直接説明したり、ちょっとした相談を受ける機会を増やしていく。	・ゆうあい便りを発行し、事業所での行事や日常の様子、利用者の作品などを地域にゆうあいの里の状況を伝えていく。 ・本別でもコロナの流行があったが、コロナ情勢を見ながら利用者と一緒に勇足元町夏祭りに参加したり、小・中学校の学習発表会に参加してひ孫の姿を見て喜ばれていた。 ・紅葉ドライブで足寄迄出かけ、新そばを食べに行く企画で土幌や音更迄出かけて、利用者も気分転換をはかる事ができて喜ばれていた。	・他地域に出向く事は利用者大変良い事と思う。 ・地域での行事、イベントが少ないため仕方がない。	・引き続き「ゆうあい便り」を通して事業所の日々の取り組みや役割・機能について周知し、地域の行事があれば利用者、職員で参加して、地域の方々と事業所とのつながりが途切れないようにしていく。 ・ゆうあいの里が主体となったイベントを企画し、地域全体のイベントとして行うよう取り組む。 ・引き続き管理者やケアマネージャーが地域を訪問する機会を増やし、事業所の説明、相談を受ける機会を増やしていく。

<p>D. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、介護サービスの提供と地域課題への取り組みの実施について、運営推進委員の方々の意見を取り入れ協力しながら協議、検討を重ねていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議は、事業所や利用者の状況を情報共有することができている。また、委員の皆様から地域の困りごとや気になる方に対する情報が出されれば、適切な機関やサービスへ繋ぐことができている。</li> <li>委員の皆様からの地域で気になる方の情報共有をして改善するよう協議している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の思いを考えながら接している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、介護サービスの提供と地域課題への取り組みを実施するため、運営推進委員と協議・検討を重ね、地域とのつながりが途切れないようにしていく。</li> </ul>
<p>E. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>策定した業務継続計画（BCP）（非常災害対策計画）を、運営推進会議委員の皆様周知し、さらに充実を目指し協議していくことで、実践的な計画にしていく。また、その計画に基づき、まだ未実施である水害を想定した地域協働の避難訓練を計画、実施する。</li> <li>水害等の緊急時には、旧養護老人ホーム等の活用も視野に町と協議を進めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務継続計画、非常災害対策計画、避難確保計画、消防計画を合わせ「災害時等業務継続計画(BCP)」を策定した。</li> <li>水害時の受入先・連携先についても計画に盛り込協定本年度中に各関係機関と打合せの上、策定するよう進めている。</li> <li>火災時の訓練の他、策定したBCPの中の「水害時等避難訓練マニュアル」に基づき、水害時の避難訓練を実施した。</li> <li>感染症発生時のBCPについても、本年度中に策定できるよう進めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加できていないのでわからない。防災の訓練に参加してみたい。</li> <li>地域の防災訓練がなされていない。</li> <li>BCPは良くできていると思うが訓練に参加していないのでもう少しBCPの勉強会をしてはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>策定した業務継続計画（BCP）（非常災害対策計画）を、運営推進会議委員の皆様周知し、実践的な計画にしていくため、火災の際の学校や自治会の協力を含めた避難訓練を実施していく。また、水害時の地域の協力の在り方や運営推進委員長の役割などを具体的に検討していく。</li> <li>水害等の緊急時には、旧養護老人ホーム等の活用も視野に町と協議を進めていく。</li> </ul>

